

登 山 の 部

当番校 西・土佐・追手前・高知工

1. 大会役員

| | | | | | |
|-------|----|------------|----|----|----|
| 大会委員長 | 豊嶋 | (四万十高等学校長) | | | |
| 専門委員長 | 鎌倉 | | | | |
| 運営委員 | 宮崎 | 麻田 | 宮崎 | 福永 | 乃一 |
| | 刈谷 | 中平 | 氏原 | 扇谷 | 由比 |
| | 都築 | 利岡 | 松岡 | 木伏 | 石川 |
| | 河岡 | 山崎 | 田中 | | |

| | | | | | |
|------|----|-------------|----|----|----|
| 大会顧問 | 宮崎 | (高知県山岳連盟会長) | | | |
| 審査員長 | 扇谷 | | | | |
| 審査員 | 宮崎 | 福永 | 都築 | 利岡 | 石川 |
| | 松岡 | 山崎 | 田中 | 河岡 | 鎌倉 |
| 総務 | 都築 | 利岡 | | | |
| 記録 | 河岡 | | | | |
| 現地救護 | 佃 | | | | |
| 支援 | 中平 | 都築 | 石川 | 律子 | |

| | | | | | |
|-------|--------|--------------|------------------------|--|--|
| 登山隊長 | 鎌倉 | ※CPへ先行後、適宜移動 | | | |
| 本隊 | 【男子A隊】 | 【女子B隊】 | | | |
| CL | 松岡 | 田中 | ※CLとSLは適宜先行移動し、審査等を | | |
| SL | 河岡 | 利岡 | 行いながら、CPまで選手と平行移動 | | |
| 最後尾担当 | 山崎 | 中平 | ※補助隊、現地救護は最後尾担当と共に行動する | | |

2. 大会期日

5月20日(土)～22日(月)

3. 会場

中津明神山・金鉾山(吾川郡仁淀川町)

4. 競技規定

審査は、『登山部報』全国高校登山大会成績評価実施要領「全国高等学校登山大会<審査基準と指導目標>」、「全国高等学校登山大会審査確認事例」等に基づき実施する。

5. 競技日程

5月20日(土)

| | |
|-------------|-----------------------|
| 9:00～9:15 | 受付(高知工業高校大会議室) |
| 9:15～9:30 | 運営打合せ後、審査員打合せ |
| 9:30～9:50 | 開会式 |
| 10:00～11:00 | 審査(天気図・知識・気象・救急) |
| 11:00～11:55 | 昼食(会議室より退出。11:55集合完了) |
| 12:00～14:00 | バス移動(高知→引地橋→吾川スカイパーク) |
| 14:10～14:50 | 審査委員会① |
| 15:00～15:20 | 入山式 |
| 15:30～16:20 | 設営審査 |

16:30～17:30 炊事審査等
18:00～19:30 審査委員会②
19:30～20:30 運営委員会①
20:30～20:50 監督・リーダー会
21:00 <消灯>

5月21日(日)

4:00 起床・朝食・トイレ
5:20 運営打合せ後、審査員打合せ
5:55 集合完了
6:00 開始通告、諸連絡
6:20 登山行動開始

【計画】 登山行動約9時間

隊行動区間 吾川スカイパーク～奥谷～大規模林道合流点
CP1区間 大規模林道合流点～大規模林道登山口～カラ池山(CP1)
CP2区間 カラ池山～猿越山～中津明神山(CP2)
隊行動区間 中津明神山～吾川スカイパーク

15:30～16:50 設営・炊事審査等
17:00～17:40 審査委員会③
18:30～20:00 審査委員会④・運営委員会②等
20:30～20:50 監督・リーダー会
21:00 <消灯>

5月22日(月)

4:00 起床・朝食・トイレ
5:30 運営打合せ後、審査員打合せ
6:00 集合完了・諸連絡
6:30～11:00 登山行動(男女サブ行動)

【計画】 登山行動約4時間30分

6:30～7:30 ～協同の森のコル[チーム行動区間。以後隊行動]
7:50～8:50 金鉱山(登頂後往路を戻る)

11:00～ 諸連絡後、バス乗車
13:00 高知工業高校着、審査委員会⑤等(選手は待機、昼食)
14:00～ 閉会式(高知工業高校大会議室)

6. 参加資格

高知県高等学校体育大会一般要項に従う。

7. 参加制限

- (1) 各校男子1チーム、女子1チームとし、4名1チームであること。
- (2) 各チームの中で1名はリーダーであること。
- (3) 各チームに監督1名とする。

8. 表彰

男女各チーム共に3位までを表彰する。

9. 参加校・参加選手

【 男子 】

| 学校名 | 監督名 | リーダー名 | 選手名 |
|-----|-----|-------|-----------|
| 土佐 | 利岡 | 難波 | 松本 宮下 中野 |
| 追手前 | 松岡 | 松本 | 公文 吉岡 ヨース |
| 西 | 田中 | 井上 | 中城 川上 横田 |
| 高知工 | 河岡 | 岡本 | 小笹 堅田 東村 |

【 女子 】

| 学校名 | 監督名 | リーダー名 | 選手名 |
|-----|-----|-------|----------|
| 追手前 | 石川 | 鎌倉 | 川竹 岡林 高橋 |
| 西 | 山崎 | 塩田 | 坂本 久保 平田 |

【 補助員 】 (サポート・救護支援)

| 学校名 | 教員名 | 補助員名 |
|-----|----------|----------------------|
| 追手前 | 石川 松岡 | 清岡 川口 近藤 吉村 西岡 田中 |
| 西 | 山崎 | 富田 岡 |
| 土佐 | 都築 | 長崎 松本 宮下 |
| 高知工 | 鎌倉 | 部府 中屋 中平 小松 長瀧 稲垣 |
| 土佐女 | 扇谷 | 伊藤 |

【 支援役員 】 (サポート・行動役員・審判員)

| | |
|---------|----------|
| 高知県山岳連盟 | 宮崎 福永 中平 |
|---------|----------|

【 赤十字 】 (現地における緊急時の救命処置等)

| | |
|-------------|-------------|
| 日本赤十字社高知県支部 | 佃 (県山岳連盟所属) |
|-------------|-------------|

全国高等学校登山大会<審査基準と指導目標>

| 区分 | 審査項目 | 審査内容 | 指導目標 | 審査細目 |
|-------------------------------------|--------------------|-----------------------------|--|--|
| I 行 動 (50点) | 1 体 力 (40点) | ・その山行にふさわしい体力がある。 | ・持久力のある体力を持ち、山になれた歩行ができる。 ・スタミナの配分を心得、安全・確実な登山を楽しむ余裕をもつ。 | ・持久力。 ・スタミナの配分。 ・リズム、スピード、バランス。 ・チーム内、チーム間の適度な間隔。 上記について留意し、定められたコースを登山し総合的に評価する。 |
| | 2 歩行技術 (10点) | ・安全確実な歩行技術が身につけている。 | | ・歩行バランス。 ・適度な歩幅。 ・スリップ、転倒をしない。 ・走らない。 ・リズムカルな歩行。 |
| II 生 活 技 術 (15点) | 3 装 備 (5点) | ・必要品の所持。 ・その数量と保安が適切である。 | ・必要品の所持とその数量が適切であり、合理的な収納、パッキングを行うことができる。 ・身体保護のための適切な服装着用ができる。 | (注) <u>アンダーライン</u> は個々に防水する携行品 (注) ○印はサブザック行動時に携行する装備品 ・共同携行品 テント一式 (フライを含む)、 ○ツェルト、炊事用具一式、コンロ、燃料、○救急装備、 ○ラジオ、○温度計、予備食、 ○修理具、○裁縫用具 ・個人携行品 ○雨具 (上下)、○ <u>防寒具</u> 、 <u>寝袋</u> 、 <u>着替一式</u> 、○水筒、食器類、○細引、○ <u>ヘッドランプ</u> (予備電池・電球を含めて)、○ <u>計画書</u> 、○ <u>地形図</u> 、 ○磁石、○時計、○筆記具、 ○ナイフ、○呼笛、○ <u>手袋</u> 、 ○ <u>マッチ</u> 、○ <u>ライター</u> 、○非常食、○行動食、ザック、ザックカバー、○サブザック、 ○サブザックカバー、 ○その他その山行に合った必需品 ・必要な救急装備の所持 ・服装 登山大会服装規定に従う。 登山靴、帽子の着用。 ・携行品の破損の有無 |
| | 4 設営・撤収 (5点) | ・動作に無駄がなく、メンバーの連携と手順がよい。 | ・テントの仕様を理解し、強度を損なわず、特性を活かした適切な扱いができる。 ・安全に、かつ悪天時にも対応しうる適切な設営手順を身につける。 | ・指定時間内での設営、撤収。 ・手順。 ・ペグの位置、打ち込み、本数。 ・張り綱の適正な張り方。 ・設営中及び設営後のザック等の整理。 ・撤収後の整地。 |

| | | | | |
|------------------------|--|---|--|--|
| | 5 炊事 (5点) | <ul style="list-style-type: none"> 安全や衛生に配慮している。 食料計画が適切である。 | <ul style="list-style-type: none"> 食料計画は栄養的知識に基づいた献立と調理法を理解し、行動計画に適合して工夫と応用ができる。 | <ul style="list-style-type: none"> コンロの正しい使い方。 安全への配慮。 燃料の量及び管理。 食料計画と実際の一致。 衛生的な調理。 |
| Ⅲ 知識 (20点) | 6 天気図 (4点) | <ul style="list-style-type: none"> 天気図の作成・解析、天気予報ができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 気象に関する基礎的知識を持ち、天気図の作成と解析、天気予報ができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 各地点の気象。 放送等圧線。 等圧線。 高気圧、低気圧、前線。 解析・予報。 |
| | 7 課題テスト (1)自然観察課題テスト (4点) (2)救急課題テスト (4点) (3)気象課題テスト (4点) | <ul style="list-style-type: none"> 登山に臨むうえでの基礎的な知識を有する。 会場となる山域についての基礎的な知識を有する。 | <ul style="list-style-type: none"> 状況に応じた適切な対応をとれるよう、実践的な知識を習得する。 対象となる山域について研究し、必要な知識を身につけて登山に臨む。 | <p>(1)(2)(3)共通課題として、予報第1号より、大会山域に関する基礎的な知識を問う。</p> <p>このほか、各課題テストでは次の内容で出題を行う。</p> <p>(1)登山を行う上での一般的な知識。</p> <p>(2)実地に対応できる基礎的救急処置の知識。</p> <p>(3)天気図等の情報の活用、観天望気を行うための基礎的な知識。</p> |
| | 8 計画書 (2点) | <ul style="list-style-type: none"> 登山計画書の記載が適切である。 | <ul style="list-style-type: none"> 登山計画書の必須事項を適正に記載する。 | <ul style="list-style-type: none"> メンバー表（氏名、生年月日、住所、血液型、保護者、電話）、緊急連絡先（留守本部、現地本部）、日程表、利用交通機関、荒天対策、概念図（主要地点名、ピーク、ルートの記載）、断面図（主要地点名、ピーク）、装備表（共同、個人分担表、重量）、食料計画（献立、カロリー、分担、重量、予備食、行動食、非常食）、救急装備表。 |
| | 9 行動記録 (2点) | <ul style="list-style-type: none"> 行動記録の記載が適切である。 | <ul style="list-style-type: none"> 事後に役立つ行動記録の記載をする。 | <ul style="list-style-type: none"> 主要地点の出発・到着時間、または通過時間、天気、コースの概況、自然観察（植生含む）、体調の記入。 |
| Ⅳ 読図技術 (10点) | 10 読図技術 (10点) | <ul style="list-style-type: none"> コース上の定点の位置が、地形図上で特定できる。 | <ul style="list-style-type: none"> 読図・地形の観察が現地で即応できる。 | <ul style="list-style-type: none"> 読図による地点確認。 |

| | | | | |
|-----------------------|------------------------|----------------------|--|---|
| V マナー・自然保護 (5点) | 11 マナー・自然保護 (5点) | ・自然保護をわきまえ、マナー全般がよい。 | ・自然保護をわきまえ、マナー全般にわたり良く、他の登山者への気配りができる。 | ・時間の厳守。 (出発・集合・起床・就寝) ・休憩時のザック位置の配慮、マナー。 ・歩行中のマナー。 ・自然保護への配慮。 ・幕営地におけるマナー。 |
|-----------------------|------------------------|----------------------|--|---|

(平成2年7月31日改正、4年8月・7年8月・11年8月一部改訂、13年8月修正確認、14年8月一部改訂、16年8月一部改訂、18年8月一部改訂、20年8月一部改訂、22年11月一部改訂、27年11月改正)

【参考】 県体における審査の例 (I 行動以外の区分)

- ① 装 備 10品目×1点 又は 5品目×2点
- ② 設 営 5項目×2点 又は 10項目×1点
- ③ 炊 事 5項目×1点 又は 10項目×0.5点
- ④ 気 象 天気図5点 気象知識2点
- ⑤ 自然観察 課題4点 地点確認4点 (8地点×0.5点 又は 5地点×0.8点)
- ⑥ 計画記録 計画書6項目×1点 又は 12項目×0.5点、 記録4項目×1点 又は 8項目×0.5点
- ⑦ 救 急 課題2点、医薬品3点
- ⑧ マナー等 全体的に見て確認し減点。